

AFPY (やまぐちふれあいプログラム) の概要

Adventure Friendship Program in Yamaguchi

1 定義

「個人や人間関係のよりよい変容をめざして、山口県の指導者が健康な子どもから大人までを対象に、AFPYの指導要領・指導原理に基づき、主に集団にかかわる様々な理論や技法を活用して実施する集団活動の総称」

2 活動目標

- 個人の成長 (自己意識の向上)
- グループの成長 (仲間づくり)

3 指導要領 (PDCAサイクル)

説明→実施→話し合い→振り返り→日常生活への応用

4 指導原理

- グループ・チャレンジによる課題解決
- みんなが楽しい
- 自己決定と自己責任
- 暗喩 (メタファー) の活用
- 仕掛けて待つ
- 勝敗・順位をつけない
- 最大限の相互尊重
- 見えないものを見える形に

5 期待できる日常生活上の教育効果

- 挑戦する意欲
- 対人関係能力
- 問題解決力
- 感動する心
- 安全への配慮
- 発想の転換

＜山口県における展開＞	
1988	県教育長のアメリカ視察
1990	第1回指導者講習会 アメリカ派遣研修 (~2002)
1993	チャレンジ&クエスト開始 山口家庭裁判所短期補導委託
2001	森の体験教室
2002	AFPYを発表
2006	人間関係づくり実践プロジェクト
2011	{AFPYの手引き}作成

6 基盤となる教育手法

- アウトワード・バウンド・スクール(OBS) → チャレンジ&クエスト
- プロジェクト・アドベンチャー(PA) → AFPY

7 授業に生かす5つの視点

- PDCAサイクル
- 安心・安全
- ルール
- コミュニケーション
- 達成感

8 初出

- 「いつでもどこでもだれでもできる仲間づくりに関する研究」
山口県教育研修所・単独研究 2002年